2015年3月27日(金)　東京農工大学府中キャンパス農学部第1講義棟12号

日本農業史学会

2015年度研究報告会

個別報告

9:10～9:50　白井泉（日本経営史研究所）
「林檎と米の労働力競合時における林檎栽培農家の対応―戦前期青森県津軽林檎産地を事例として」

9:50～10:30　都留俊太郎（京都大学大学院）
「植民地期台湾の製糖会社による甘蔗栽培技術改良―「埋め込まれた甘蔗作」の視点から―」

10:30～11:10　大瀧真俊（日本学術振興会特別研究員）
「戦時下の軍馬動員と東北農業経営―馬産経済実態調査の分析から―」

11:10～11:15　休憩

11:15:～11:55　小濱武（東京大学大学院）
「琉球政府米穀政策の展開―1960年代中盤における「適地適作」政策の検討―」

11:55～12:35　藤原辰史（京都大学）
「第一次世界大戦期農村の女性たち――ドイツを中心に」

12:35～13:30　昼休み

13:30～14:10　三好豊(愛媛大学大学院)
「戦後初期、開拓増産隊実験基地農場の建設における満洲農法導入への諸契機の解明－武田寛のライフ・ヒストリーより－」

シンポジウム　14:20～17:50

農家・農村の戦後と高度成長を穿つ

―移動と女性と高齢者―

座長・趣旨解題：
庄司俊作
（同志社大学）

コメント：
伊藤淳史
（京都大学）

第1報告：
奥井亜紗子（京都女子大学）
「学歴主義の浸透と農村―都市移動―兵庫県篠山市同郷団体会員調査をもとに―」

第2報告：
岩島史（日本学術振興会特別研究員／明治大学）
「高度成長期農村における生活とジェンダー規範の変容―京都府丹後地域を事例に―」

第3報告：
安岡健一（飯田市歴史研究所）
「高度成長期地域社会における高齢者の研究―その課題と展望―」

問合せ先：日本農業史学会事務局
連絡先：03-5841-5321